

社団法人



長崎青年協会

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION



長崎青年協会憲章

我々は、会員の団結と相互扶助の精神の基に、自己の建設と会員の親睦を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

今月の行事

- 5日 理事会
- 10日 新人研修
- 15日 理事会
- 16・17日 留学生の集い

- 21日 定時例会

講師 ニュー
PM 6時30分
長崎ホテルニュー
長崎クラブ
フィットネス

テーマ「運動と健康」
黒江直樹氏
アドバイザー
チーフ

● 29・31日
海のフェスティバル

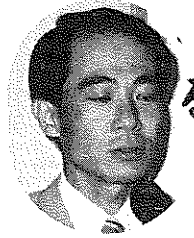
海
の
フ
ェ
ス
テ
ィ
バ
ル

NAGASAKI
YOUNG GENERATION
ASSOCIATION

MONTHLY **7** 1988 JULY
STYLE NO.109

六月例会

江村会長挨拶



皆様こんばんわ。うつとおしい梅雨に入りましたが最近では随分と雨の少ない日が続いています。空梅雨で水不足の問題が心配される今日この頃です。さて、日米の十年來の懸案でありました農産物の自由化問題が合意いたしました。牛肉、オレンジにつきましては、昭和66年の完全自由化を目指して段階的に自由化するという内容でした。国内の生産者の方々には大変な試験だとは思いますが、政治の力も含めた色々な手段で乗り切って戴きたいと思えます。又、我々消費者からは自由化効果が製品価格に

日時 昭和63年6月21日
場所 ホテルニュー長崎

十分に反映されることを期待したいと思います。青年協会恒例の厄入りのお祝いも、六月一日の松の森神社での祈願と十一日の懇親会も皆様のご協力で無事終了する事が出来ました。本年厄を迎えられた九名の方々のご健勝を心からお祈りしたいと思います。

そして、当協会も、七月十六、十七日に国際交流委員会が行います『留學生の集い』、七月二十九日より、三十一日にかけて企画委員会が担当します『海のフェスティバル』、八月十二、十三日に事業委員会が、担当します『サマーフェスタ』と三つの対外事業を控え担当委員会の活動も大変活発になつてまいりました。各委員長大変ご苦労をお掛けしますが宜しくお願い致します。又、担当委員会以外の会員の方も当日の出席など色々な形でご協力をお願い

致します。

よろこび

★森 保博君

大進建設(株)次長に昇進おめでとう。

★厄入りツアー御一行のみなさん！

とてももてたそうですね。その中でも一人だけ別れを告げるのが辛くて、一日滞在を延ばされたとか。(広報一同……独身貴族はいいな……)

★桂 孝道君

松の森神社での厄入り御祓に酔っぱらいの人が、一緒に御参拝(桂君のお友だちでした)。

★西村真一君・熊沢 悟君

厄入り懇親会にノーネクタイで出席。

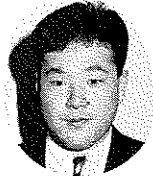
★劉 清才君・黄 醒博君

張君のお店のスターゲート(レーシングカー)でクラス別優勝おめでとう。

★塩田和海君

会長杯ゴルフコンペにて優勝おめでとう。

新人紹介



●山形浩介君

勤務先 長崎大学歯学部 薬剤師
S 39年4月11日生
坂本町 戸町3-212
配属 例会委員会



●開 義人君

勤務先 (有)ハウス流通 サービス
S 34年4月11日生
葉山町362-8
現住所 本原町30-18
配属 事業委員会



●一番ヶ瀬政治君

S 34年8月4日生

勤務先 (株)ひぐち 岩川町1-3
現住所 銅座町3-28
配属 国際交流委員会



●吉田忠和君

勤務先 三井生命
S 34年11月4日生
現住所 万才町6-35
配属 総務委員会
西山二丁目378番地



●溝口章彦君

勤務先 初天城
S 40年10月19日生
現住所 風頭町9-5
配属 国際交流委員会
風頭町9-5

以上五名の皆様、御入会おめでとうございます。

講師講演 (要旨)

長崎県企画部長

松尾 英三氏

ナカサキエキソティツウ

リゾート構想に

ついて

〈プロフィール〉

昭和六年長崎生れ。東高、長崎大学経済学部卒業後、県通商貿易課を経て、沖縄、バンコク、香港の貿易促進駐在員、県東京事務所、県議会議務局長、県労働部長を歴任し、現在に至る。



皆さん、こんばんわ。

リゾートの話の前にまず長崎を取り巻く国際問題、交通対策問題などについて

お話ししたいと思います。

ポルトガルの船が千五百七十一年に来航して以来、港で生きて来た長崎であり、ますが、終戦直前までは、横浜、神戸、門司そして長崎という、貿易港としての栄光時代がありました。ところが現在の統計では、輸出で全国三十一位、輸入においては、六十四位、海外定期航路は、一本も無い状況に置かれております。

また、最盛期百十七坑あった炭坑も今では、池島ただ一つになりました。造船も御存知の通り、雇用人員が長崎では、約半数、佐世保では、三分の一にまで減少しております。

♪長崎の道よ何故険し……

これから長崎が生きて行く方向ですが、どうしても我々は、日本の西の門戸として、復活してもらいたい。そこで身体を東京へ向けますとどうしても非常に遠隔地であるために不便であります、くるっと西を向きますと、日本で大変有利な

場所にあります。

まず国際問題ですが対中国対策として長崎→上海間に、週三往復の航空路と、六十四年四月には月一・二回の国際カーフェリーを通わせ、また環東海黄海国際交流構想と言う、長崎、中国、北朝鮮、大韓民国、こういつた東シナ海、黄海を取り巻く国々が一同に会して、水産資源の問題等で、協力し合う計画を成しとげたいと思っております。

次に交通問題として、九州横断道路が二年もすれば完成します。また長崎→上海、長崎→九州島航路を開き、そして、五島にジェットホイルを導入したい。これは時速八十km、二百八十人乗りで福江間を一時間半で着くようにします。そして、長崎→ソウル間に定期航空路を就航させる計画を進めております。

さて、こういった再生問題の中で、なぜリゾートを取り上げたかと申しますと日本人は一年に二千五百五十

時間働いております。これにくらべ、アメリカでは千九百二十四、イギリスでは千九百三十八、西ドイツ、フランスに至っては、千六百五十時間程度の労働をしているわけで、今、日本でも、約千八百時間まで、週四十時間の労働を計画しております。こうなるとかなり余暇時間が出て来ますので、そこで、このリゾート構想の登場になるわけです。



リゾート地域にも制限がありません、まず十五万ha以内であり、地域内に会社が設立されていて事業計画

が公表されていると言うこと。又お互いの地域が一時間以内で結ばなければならない。そういう条件のもとで県内に七地区のリゾートエリアを設定したわけですが、これにかかる事業費は三千五百億と言われておりますが、これが大きな波及効果があると思えます。

人材の雇用、建設業、又、物資資材の納入、それに物販売などで、そうとうな効果が期待されます。いわば長崎の観光の究極の姿ではないかと考え、是非がんばって、立派なリゾートに仕立上げたいと思えます。

そういつたわけで、長崎県は大変苦難の道を歩いておりますが、私達行政が出来るのはそういう基礎作りでありまして、それに乗っかって活躍いただくのは民間の皆様でございますのでどうぞこれからしっかりと皆様方の御活躍をお祈りする次第でございます。 どうもありがとうございます。

今回は、七月十六、十七日に式見ハイツで行なわれる『留学生の集い』を前に、長崎市国際課課長、小峰俊彦氏にお話しを伺いました。

● どういう趣旨の基に長崎市国際課ができたのか、お聞かせ下さい。

— 長崎市に昭和三十年十一月七日セントポール市と姉妹都市を提携しましたがこれは全国で第一号の提携です。今では全国の一四二四市町が姉妹都市を結んでおり、様々の交流が続けられています。その後、長崎市はブラジルのサントス市、ポルトガルのポルト市、オランダのミデルブルフ市と提携して、昭和五十五年には中国の福州市との友好都市の提携をするということになりました。これを機会に貿易の窓口を設置しようということとなり、業務が拡大したので、商工観光部の国際課が昭和五十五年一月に誕生したものです。



● 現在まで、国際課が行なってきた主なお仕事をお聞かせ下さい。

— 国際交流という事業は国と国とか、市と市とかの交流の推進役になっても人と人との交流がその基礎となるものであると思います。福州市との友好都市提携五周年を記念して昭和六十年八月十八日から二十五日まで四六七名の青少年を乗せた「あじさいの船」を成功させたことでしょうか。若い少女に国際交流の体験をさせようとした企画はそれぞれに胸にあつく感じるものが残ったようです。● 『留学生の集い』を開催することになったいきさ

つをお聞かせ下さい。— 『留学生の集い』を昨年開催したのは、せっかく日本の、しかも長崎に来て勉学に励んでいるということは生涯忘れられないもの

20周年特別企画インタビュー
人と人との交流が国際交流の基礎である
 長崎市国際課課長 小峰 俊彦 氏

があると思うのです。長崎の人達はこんなに親切に自分たちを迎えてくれて勉強することができたと帰国されるように長崎市民の若い人

たちとの交流を促進して新しい友人をつくることのできることを期待して実施したものです。留学生の悩みを社会全体でどの様に手助けが、どうしたらできるか、などの意見を聞きながら話し合う機会をつくるため開催したものでした。本年も長崎青年協会の協力を得て七月十六、十七日の一泊二日

で実施するよう準備をしています。● 国際課が、我々青年協会等の民間団体に対して、今後求めていることをお聞かせ下さい。

— 国際交流とは、外国の人たちを特別にもてなすことではないと思います。お互いに理解を深めていくことが大切であり、若し皆様が自分たちが、積極的に言葉の問題を乗り越えて留学生たちと外国の人たちとも日頃から多くの機会を持つことが大事でしょう。市民ひとりひとりの交流が大きく広がっていき友人としての思いやりを持

つてほしい。● 最後になりますが、青年協会に対しての、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

— 日頃から長崎青年協会の若い原動力を持って何か情熱を燃やして、市やその他の地域の奉仕活動をしておられることは、貴重な体験だと思います。

この国際社会で生きて行く素地をつくる上で、自分たちが率先してやらなければならぬという使命感を持ってあらゆる活動をして欲しいのです。

海外旅行で実情を見てきて長崎でもこうした方が良いとか、長崎に来ていた留学生であった方を訪ねたり社会で活躍している留学生だった方を再び長崎市へ招いたりしたら面白いと思います。

我々青年協会も『留学生の集い』に一人でも多くの会員が参加し、成功させるようがんばります。

委員 会 報 告

【国際交流委員会】

今日は、今年初めて出来ました国際交流委員会です。さていよいよ当委員会の担当であります「留学生の集い」を、7月16日(土)17日(日)にかけて一泊二日の予定で式見ハイツにて行ないます。当委員会では、今、最終的なつめを急いでおります。この広報紙が届くころには、準備もとのえ、皆様の参加をお待ちしております。もう何度か機会がありましたので、内容等十分知っているとありますが、簡単に説明いたします。

昨年度の第一回目の留学生の集いは長崎市主催でありまして、その内容は長崎市在住の各大学の留学生同士の交流といった感がありました。好評のうちには終了しました。それでぜひこの企画を来年もできれば日本人を入れたところで続けてもらいた

いという要望と、それならば民間団体と共同して進めたいという長崎市の考えで青年協会との共催が実現しました。当委員会の今年の「留学生の集い」の目的は二つあります。一つは、青年協会の会員も留学生も同じ環境の中で、お互いの国の習慣や考え方を話し合って国際感覚を勉強して行くこと。二つ目は青年協会と留学生のネットワーク作りです。以上の事を念頭に入れて、昨年は留学生だけ集まって好評だったものを青年協会のメンバーを入れていかに有意義なものにするか、スケジュールづくりに頭を悩ましたところです。とにかく参加してもらった人に来てよかつたと言ってもらって、来年度も第三回の「留学生の集い」ができるようにしたいと思っております。協賛金はじめ皆様にご迷惑をかけたがご協力をお願いします。式見ハイツにて待っています。

【企画委員会】

昨年に続き、松ヶ枝埠頭で行なわれる「ながさき海のフェスティバル」に、参加する事になりましたので、皆様の多数の参加、協力をよろしく願います。

期 日

7月29日(金)31日(日)

場 所

松ヶ枝国際観光埠頭

内 容

- 食べ物コーナー
- かき氷
- ビール・ジュース
- やき鳥
- 綿菓子
- フランクフルト
- ダックスボイス

遊びコーナー

- ボール投げ
- バズーカー砲
- 水鉄砲

以上のコーナーを、ちゃんぽん市として3日間通して出店いたします。

また、今年の目玉であります、中日(30日(土))に行

なわれる、仮装DEサンバに特別チームを作りまして、参加します。賞金20万円を目標して頑張ります。

さらに、最終日(31日)は、職場対抗ペーロン大会にも、参加します。昨年は四位でしたので、これ以上の成績を残したいと思えますので、最後の残った体力で、一生懸命かいをこぎま

しょう。暑い夏の3日間の祭りですが、長崎青年協会の「BST」でやり抜きますので、現会員及びOBの方々の、絶大なる応援をお願い致します。

【事業委員会】

KTNが毎年行っている「KTNナイターページェント」も今年は、長崎県・長崎市・観光協会等の後援により、市民参加型の祭りとして、大きく変わる事となりました。

当協会に対しKTNより協力依頼がありましたので市民の方に少しでも喜んで

もらえるのならと思いい参加する事となりました。

内容は次の通りです。

〈期 日〉 8月12日(金)13日(土)

AM 11時 PM 9時

〈場 所〉 松山運動公園一円

〈内 容〉

- 杉山清貴他ライブショー
- ジャンボ迷路
- どうぶつジャンプランド
- スカイダイビングショー
- 「長崎サンバ」コンテスト
- 出店60店 80店
- 大道芸人ステージショー
- その他

以上のような内容で行なわれますが、その中で、青年協会が30店舗のブースを受けもつ事となりましたので、会員及びOBの方々の御協力をお願い致します。

〈ブース出店をお願い〉

○ 30店舗のブースを担当しておりますが、まだ軒数が足りません。

会員のみなさんの知人の方で出店されるような人がいらしやいましたら、事業委員会まで連絡をお願い致します。

厄入り懇親会

去る6月11日(土)、浜口町の魚太橋に於いて、厄入り懇親会が盛大に行われしました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、諸先輩をはじめ、会員諸兄の多数の出席をいただき、厄入りをされた方も、さぞ満足された一夜を過ごされたことだと思います。

まず会は、会長の挨拶か

ひとロメモ (食)

ある中国貴族の食事

孔府を御存知ですか？それは中国歴史上もつとも長く続いた貴族孔氏の邸宅で二千五百年、七十七代にわたって栄えました。

そこには一族のためと、来客用の、内厨、外厨という二つの厨房があり、それぞれ別の料理人が三十名ずつ務め、内厨の彼らの収入は、三ヶ月に粟五百斤のみ、しかし作った料理を主人が気に入れば、銀などの褒美

ら始まり、約二時間後、万才三唱で一次会を終え、つづいて同ビル内のスナックストロークハットに二次会場を移しました。この二次会も、多数の出席者で賑わい、無事、厄入り懇親会は終了致しました。

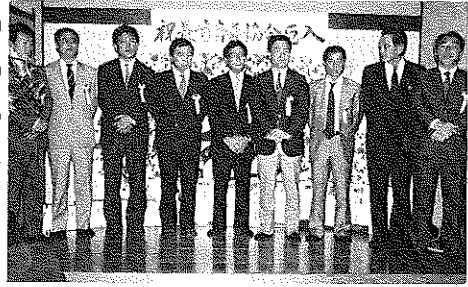
どうぞ厄入りをされた諸兄には、この一年、健康には充分留意され、また、ますますのご活躍をお祈り致します。

をもらう事もあり、よりよい料理を作ろうと競争が激しかったようである。

孔府では様々な宴席がもたれ、清の乾隆帝の手紙の一文に、前菜と干した果物だけで銀二百両に値する。

これだけでもその豪華さが想像できる。孔府の帳簿を紹介しよう。夫人の誕生日、宴十二日間、計四六九皿。また別の宴では、フカヒレ類八皿、ナマコ類二三皿、その他百数十皿、点心五二組、饅頭二五〇kgが出たという。

ゴルフ同好会



去る6月19日(日)、喜々津カントリークラブにて、第3回江村会長杯及び、厄入りゴルフコンペを開催しました。厄入り者の森山茂君、金子寿英君、杉本善郎君、黒瀬勝幸君、海野博君、浜口康幸君、松本直行君を中心に、OB、会員、総数、24名で盛大に行ない、成績は、優勝が、塩田和海君、準優勝が、竹中悟君、3位が、海野博君という結果でした。本日に皆様、お疲れさまでした。次回は、9月11日頃の前定で、ただ今計

画しております。次回も沢山の皆様の参加を期待しております。

ゴルフ同好会 金田



トビックス

今、巷で流行のH O スロットルレーシングを御存知でしょうか？昔なつかしのレーシングカーをグツと高度に発展させた様なゲームで、仲々難しいけれど、大変面白いのです。この魅力にとりつかれたマニアが我々青年協会の中にも約10名程おりまして、暇をみては互いに腕を競い合っているのです。そんな中で特に熾烈なのが黄君と劉君のライバル関係。ちなみに先頃行なわれた大会では、1500クラ

6月懇親会報告

6月21日、字銀座村にて行なわれました。ママより一言。「低料金でサービス満点。宜しくお願いします。」

字銀座村
船大工町2-13
(ミヤガワビル2F)
281-2663

